

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		小学校健康管理事業費・中学校健康管理事業費【教職員の定期健康診断事業】										
予算科目	款	10	教育費	項	2 3	小学校費 中学校費	目	4	学校保健衛生費	事業番号	1	
事業の種別		<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名		教育総務		課		学務		係		課長名 斎藤 謙二郎		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		1 - 1		
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書 (ページ)		31		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市立小・中学校の教職員					市立小・中学校の教職員数						
	→											
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	教職員が健康の保持・増進できるように、健康診断を受診する。					受診率						
	→											
3 経費	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	学校保健安全法及び学校保健安全法施行規則に基づき、定期健康診断を実施した。					健康診断受診教職員数						
	→											
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標				
対象指標	①の数値	人	434	439	410							
成果指標	②の数値	%	93.0	86.0	95.8							
目 標	②の目標値	%	100	100	100							
		目標値設定の考え方										
		全ての教職員が適切に健康診断を受診できるようにする。										
活動指標	③の数値	校	397	376	393							
3 経費	事業費(実績)		円	3,765,408	3,663,638	3,588,112		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	3,765,408	3,663,638	3,588,112						
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	1,662,000	1,676,000	1,650,000						
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	5,427,408	5,339,638	5,238,112							
4 環境変化等	(1) 開始年度	不明 年度										
	(2) 環境の変化 特になし											

事業名称	小学校健康管理事業費・中学校健康管理事業費【教職員の定期健康診断事業】				
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係	課長名 斎藤 謙二郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
7 課題	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし				
	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 4日間の日程のうち、午前だけの日程、午前・午後の日程の日があるため、組み合わせを変えて受診人数が分散されるよう促す。				
8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 各学校で受診者名簿を作成する際に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、あらかじめ分散して受診するよう学校への配慮を依頼した。 また、受診者名簿で各日程ごとの受診者数が、名簿上で明瞭化されるよう使用する名簿を工夫した。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 受診日による偏りを解消して実施することは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止や無駄のないスムーズな健診につながり、市（教職員健康診断委託業者）と教職員の双方にとって、メリットが大きいことから、引き続き、受診日による偏りを解消する手立てを検討する必要がある。				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 受診日による偏りを解消する手立てを検討するとともに、引き続き、教職員の健康保持、健康増進が図られるよう適切な健康診断の実施に努める。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 受診日による偏りの分散手法について、受診者名簿の作成依頼前までに、必要に応じて学校と相談しながら検討を行う。				